

自分の声や通話中の声を録音する

自分の声や相手の声を録音します（マイボイスメモ・音声メモ）。マイボイスメモ、音声メモ、簡易留守録を合わせて最大90秒、または最大10件まで録音できます。

待受中に自分の声を録音する（マイボイスメモ）

1 (F) を押し、(F) で「#.メモ録音」を選び (選択) を押す

「ピー」という音のあとに録音が始まります。マイクに向かって話してください。

- すでに録音時間または録音件数がいっぱいの際は古い録音内容を消去してから新しく録音してください。
- 通話終了直後は録音できません。操作し直してください。
- 録音中に録音可能時間を超えると自動的に終了します。



2 (停止) を押す

「ピー」という音が鳴り、終了します。

通話中に相手の声を録音する（音声メモ）

1 通話中に (メモ録音) を押す

「ピー」という音のあとに録音が始まります。相手の声が録音されます。

- 通話中に (F) を押し、(F) で「#.メモ録音」を選び (選択) を押しても、録音を開始できません。
- すでに録音時間または録音件数がいっぱいの際は古い録音内容を消去してから新しく録音してください。
- 自分の声は録音できません。
- 録音中に録音可能時間を超えると自動的に終了します。



2 (停止) を押す

「ピー」という音が鳴り、終了します。

注意

- マイボイスメモを録音中に電話がかかってくると、録音は中止され、着信画面が表示されます。着信までの録音内容は保存されます。

補足

- 次の場合は、録音日時が最も古い録音（マイボイスメモ・音声メモ・簡易留守録）から順に上書きされますので、ご注意ください。
 - 録音可能時間がない、またはすでに10件録音されている場合に、着信中に簡易留守録で録音したとき（着信中留守録（➡P2-12））
 - 着信中留守録で録音中に、録音時間の合計が90秒を超えたとき
- マイボイスメモ、音声メモを再生するには（➡P12-5）

簡易留守録とは、会議中などの理由で電話に出られない場合に、相手のメッセージをV301Dで預かりする機能です（メッセージを聞く場合、通話料金はかかりません）。

圏外のときに、留守番電話センターでメッセージをお預かりする「留守番電話サービス」とは異なります。

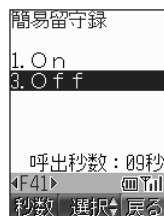
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 (F) (4) (1) を押す

- 呼出時間を変更しないときは操作4に進みます。

2 (秒数) を押す

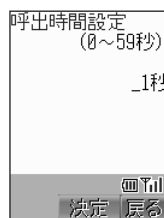
- お買い上げ時は「9秒」に設定されています。



3 簡易留守録が応答するまでの呼出時間 (0～59秒) を入力し (決定) を押す

呼出時間が設定されます。

- 2桁入力すると、(決定) を押さなくても自動的に設定されます。
- 自動着信の呼出時間と同じ秒数には設定できません。





4 (決定) で「1. On」を選び (選択) を押す

簡易留守録が設定され、アイコンが表示されます。

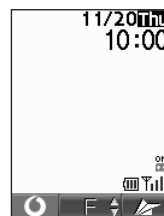
- 録音状況によって表示されるアイコンは以下のようになります。

 : 録音なしのとき


 : 録音ありのとき（数字は、マイボイスメモ、音声メモ、簡易留守録の合計録音件数）


 : 残りの録音可能時間が10秒未満のとき、またはすでに10件録音されているとき

- 録音可能時間が10秒未満の場合、またはすでに10件録音済みのときは、簡易留守録を設定できません。古い録音内容を消去してから、設定し直してください。
- 簡易留守録を解除するときは (決定) で「3. Off」を選び (選択) を押します。



電話がかかってくると

設定した呼出時間が経過すると、電話に出られないので用件を録音する旨の応答メッセージが流れたあと、相手の用件が録音されます。用件が録音されるとディスプレイに  が表示されます。

- 録音中の相手の声を聞くことができます。
- 応答メッセージ再生中および録音中に  またはエニーキーアンサーで電話に出られます。
- 録音時間または録音件数がいっぱいの際は録音できません。
- マイボイスメモ、音声メモ、簡易留守録を合わせて最大90秒、または最大10件まで録音できます。
- 録音中に録音可能時間を超えると録音が終了し電話が切れます。
- 留守録が応答する前や録音後に相手が電話を切ったときは、「着信あり」画面が表示されます。
- 電源を切っても録音内容は消えません。
- 次の場合は、録音日時が最も古い録音（マイボイスメモ・音声メモ・簡易留守録）から順に上書きされますので、ご注意ください。
 - 録音可能時間がない、またはすでに10件録音されている場合に、着信中に簡易留守録で録音したとき（着信中留守録（●P2-12））
 - 着信中留守録で録音中に、録音時間の合計が90秒を超えたとき

注意

- 以下のいずれかが同時に設定されている場合は、呼出時間の短い機能が優先されます。
 - ・自動着信 ・転送電話サービス ・留守番電話サービス
- 簡易留守録動作中は、割込通話サービスを受けることはできません。
- 呼出時間を転送電話サービスまたは留守番電話サービスと同じ秒数に設定したときは、電波状況などにより、実行される機能が変わります。

録音内容を再生／消去する

録音内容を再生する（メモ再生）

録音したマイボイスメモ、音声メモ、簡易留守録のメッセージを再生します。

1 V301Dを開いているときに \odot （サイド）を押す

最新の録音内容の情報が表示されます。

- \odot (F) を押し、 \odot で「＊.メモ再生」を選び \odot (選択) を押しても操作できます。

未再生の簡易留守録のとき表示されます。再生後は消えます。

種別

- マイボイスメモ
- 音声メモ
- 留守録(簡易留守録)



12

ほかにもいろいろあります

2 \odot で録音内容を選び \odot (再生) を押す

- \odot を押すと新しい順に録音内容の情報が表示されます。 \odot を押すと古い順に表示されます。
- 1件の再生が終わると次に新しい録音内容の情報が表示されます。

3 \odot (停止) を押す

補足

- 電話を切ってからしばらくの間は操作できないことがあります。操作し直してください。
- 未再生の簡易留守録のメッセージがあるときは、ラピッドメニューから \odot を選び \odot (選択) を押しても再生を開始できます。
- 簡易留守録でメッセージを録音した場合、着信履歴の画面で \odot (機能) を押し、ポップアップメニューから「留守録再生」を選び \odot (選択) を押しても、メッセージの再生を開始できます。

録音内容を消去する（メモ消去）

◆例：1件消去するとき

1 V301Dを開いているときに \odot （サイド）を押す

最新の録音内容の情報が表示されます。

- \odot （F）を押し、 \odot で「＊.メモ再生」を選び \odot （選択）を押しても操作できます。

2 \odot で録音内容を選ぶ

- \odot を押すと新しい順に録音内容の情報が表示されます。 \odot を押すと古い順に表示されます。

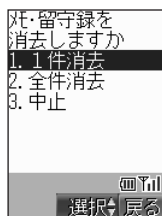


3 \odot （消去）を押す

4 \odot で「1.1件消去」を選び \odot （選択）を押す

録音内容が消去され、次の録音内容の情報が表示されます。

- 録音内容を全件消去するときは \odot で「2.全件消去」を選び \odot （選択）を押します。
- 消去を中止するときは \odot で「3.中止」を選び \odot （選択）を押します。



注意

- 全件消去を行うと、未再生の録音内容も消去されます。ご注意ください。

補足

- 簡易留守録のメッセージを消去すると、着信履歴の応答種別アイコンが \odot から \odot に変わります。

12

ほかにもいろいろあります